

上映スケジュール

4月	企画展 関連上映 シネマティック・ジャパン チケット発売日:3.14(土) ※英語字幕付き上映	14 火 10:30 砂の女(147分)	14:00 雨月物語(97分)※
		15 水 10:30 雨月物語(97分)※	14:00 怪談(161分)
		16 木 10:30 雨月物語(97分)※	14:00 砂の女(147分)
		17 金 10:30 雨月物語(97分)※	14:00 怪談(161分)
		18 土 10:30 怪談(161分)	14:00 砂の女(147分)
		19 日 10:30 怪談(161分)	14:00 雨月物語(97分)※+上映解説
		25 土 10:30 裏窓(113分)	13:30 スタンプラリーイベント「エキゾチック鎌倉」←詳細はHPをご確認ください
		26 日 10:30 めまい(128分)	14:00 サイコ(109分)
		27 月 休館日	
		28 火 10:30 裏窓(113分)	14:00 めまい(128分)
GWのシネマセレクション チケット発売日:4.11(土)		29 水・祝 10:30 サイコ(109分)	14:00 裏窓(113分)
		30 木 10:30 めまい(128分)	14:00 サイコ(109分)
		1 金 10:30 落下の王国(120分)	14:00 愛を耕すひと(127分)
		2 土 10:30 冬冬の夏休み(98分)	14:00 落下の王国(120分)
		3 日・祝 10:30 愛を耕すひと(127分)	14:00 冬冬の夏休み(98分)
		4 月・祝 10:30 落下の王国(120分)	14:00 愛を耕すひと(127分)
		5 火・祝 10:30 冬冬の夏休み(98分)	14:00 落下の王国(120分)
5月	企画展 関連上映 シネマティック・ジャパン チケット発売日:4.11(土) ※日本語・英語字幕付き上映	6 水・振 10:30 愛を耕すひと(127分)	14:00 冬冬の夏休み(98分)
		9 土 10:30 座頭市と用心棒(115分)	14:00 ダニエル・アギラルさんトークイベント
		12 火 10:30 羅生門(88分)	14:00 乱(162分)
		13 水 10:30 A.K.ドキュメント黒澤明(70分)	14:00 映画の中の黒澤明 Filming Akira Kurosawa(93分)※
		14 木 10:30 乱(162分)	14:00 羅生門(88分)
		15 金 10:30 羅生門(88分)	14:00 乱(162分)
		16 土 10:30 乱(162分)	14:00 A.K.ドキュメント黒澤明(70分)
		17 日 10:30 映画の中の黒澤明 Filming Akira Kurosawa(93分)※	14:00 羅生門(88分)+上映解説
		19 火 10:30 座頭市と用心棒(115分)	14:00 子連れ狼 子を貸し腕貸しつかまつる(95分)
		20 水 10:30 修羅雪姫(97分)	14:00 座頭市と用心棒(115分)
		21 木 10:30 子連れ狼 子を貸し腕貸しつかまつる(95分)	14:00 修羅雪姫(97分)
		22 金 10:30 子連れ狼 子を貸し腕貸しつかまつる(95分)	14:00 座頭市と用心棒(115分)
		23 土 10:30 座頭市と用心棒(115分)	14:00 修羅雪姫(97分)
	24 日 10:30 修羅雪姫(97分)	14:00 子連れ狼 子を貸し腕貸しつかまつる(95分)+上映解説	
6月	企画展 関連上映 シネマティック・ジャパン チケット発売日:5.9(土)	30 土 10:30 座頭市と用心棒(115分)	13:30 【活弁+生演奏付き上映】「十字路」(87分)
		2 火 10:30 刺青一代(87分)	14:00 愛のコリーダ(104分)
		3 水 10:30 裸の島(95分)	14:00 刺青一代(87分)
		4 木 10:30 愛のコリーダ(104分)	14:00 裸の島(95分)
		5 金 10:30 愛のコリーダ(104分)	14:00 刺青一代(87分)
		6 土 10:30 裸の島(95分)	13:30 特別上映 愛のコリーダ(104分)+トークイベント
		7 日 10:30 刺青一代(87分)	14:00 裸の島(95分)
		9 火 10:30 Love Letter(117分)	14:00 (ハル)(118分)
		10 水 10:30 ロスト・イントランスレーション(102分)	14:00 Love Letter(117分)
		11 木 10:30 (ハル)(118分)	14:00 ロスト・イントランスレーション(102分)
		12 金 10:30 Love Letter(117分)	14:00 (ハル)(118分)
		13 土 10:30 ロスト・イントランスレーション(102分)	14:00 Love Letter(117分)
		14 日 10:30 (ハル)(118分)	14:00 ロスト・イントランスレーション(102分)+上映解説

企画展

シネマティック・  
ジャパン

—世界を魅了した日本映画たち  
2026.4.4[土]→6.14[日]

企画展観覧料:一般300(210)円 / 小・中学生150(100)円 ※( )内は20名以上の団体料金

旧川喜多邸別邸(旧和辻邸)

当館敷地内に建つ旧和辻邸をご覧いただけます。  
一般公開(無料) 4.11(土)、12(日) 各日10:00~16:00  
特別公開(要展示観覧料) 5.2(土)~4(月・祝) 各日10:00~16:00  
※一般公開は土間までの入場となります。特別公開は靴を脱いで邸内をご覧いただけます。\*いずれの公開も天候等の事情により中止となる場合があります。

上映解説(要展示観覧料/各40分)

上映終了後、学芸員が上映作品について解説します。  
4.19(日)「雨月物語」  
5.17(日)「羅生門」  
5.24(日)「子連れ狼 子を貸し腕貸しつかまつる」  
6.14(日)「ロスト・イントランスレーション」

ギャラリートーク(要展示観覧料/各40分)

展示のみどころについて、学芸員が解説します。  
4.25(土)/5.9(土)/6.14(日)  
各日13:00~  
※終了後、希望者のみ旧和辻邸見学ツアーあり(約10分)

展示解説ツアー(要展示観覧料/計90分)

企画展テーマに共通性のある鎌倉歴史文化交流館と鎌倉市川喜多映画記念館をめぐる展示解説ツアーを実施します。  
5.29(金)/6.13(土) 各日13:30 集合場所:鎌倉歴史文化交流館



鎌倉市川喜多映画記念館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12

☎0467-23-2500

開館時間:9:00-17:00(入館は16:30まで)  
休館:月曜日(5.4は開館) 5.7(木)

●駐車設備がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

主催:川喜多-KBSグループ  
(鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者)  
※席数、入館時間等は状況により変更する場合がございます。詳しくはお問合せください。



https://kamakura-kawakita.org

友の会会員募集中

年会費	2,500円(有効期限:2027年3月末)
特典	○映画チケットの電話予約が可能 ○1,300円分の映画鑑賞引換券を2枚プレゼント ○展覧会観覧料がいつでも無料 ○会員向けのイベントを実施

記念館窓口、郵便振替でお申し込みを受け付けています。詳しくはお問合せください。

鎌倉市川喜多映画記念館

# 企画展 シネマティック・ジャパン ―世界を魅了した日本映画たち

日本映画はいつから世界で見られるようになったのでしょうか？どんな映画がどんな風に見られてきたのでしょうか？

日本映画はその草創期から世界を夢見てきました。川喜多長政は、留学先のドイツで目にしたオペラ「蝶々夫人」における日本の出鱈目な描写に失望し、外国に日本の正しい姿を知ってもらいたいとの思いから映画と関わるようになりました。欧米の映画に学びつつ、映画人たちは独自の映画文化を発展させてきました。

転機が訪れたのは1951年。『羅生門』のヴェネチア国際映画祭受賞が、敗戦からの復興途上にあった日本人を勇気づけ、日本映画は次第に国際

『羅生門』(1950)西ドイツ版ポスター



『ゴジラ』(1954)スペイン版ポスター



『座頭市千両首』(1964)フランス版ポスター

**5.9(土) 14:00**  
チケット発売日 **4.11(土)**  
トークイベント  
**宣材から見る、世界で注目される邦画の今昔**  
ダニエル・アギラルさん(映画史家／翻訳家)

戦後、日本映画は海外でもその評価を高めていきますが、いわゆる“映画史上の名作”にとどまらず、数多くの娯楽映画・ジャンル映画もまた世界中のファンに愛されてきました。本展に貴重なコレクションを出品されている、スペイン出身のダニエル・アギラルさんの日本映画遍歴を通じて、もう一つの日本映画受容史を探ります。

料金：一般 500 円／小・中学生 250 円 (展示観覧料含む)

**6.6(土) 13:30**  
チケット発売日 **5.9(土)**  
【特別上映】『愛のコリーダ』上映＋トークイベント  
**海外で日本映画を見せるということ**  
平野共余子さん(映画研究者)

日米の文化交流に先駆的な役割を果たしてきたニューヨークの非営利団体ジャパン・ソサエティで、18年にわたり日本映画の上映に携わった平野共余子さんに、海外で日本映画を見せることの魅力や意義について、自身の経験を通して語っていただきます。

料金：一般 1,900 円／小・中学生 950 円 (展示観覧料含む)

展示・上映協力(敬称略):国立映画アーカイブ[1]、ダニエル・アギラル、横田寿文、PROPAGANDA、アートナイン、ソウルアートシネマ／デザイン:フルタヨウスケ(A NEW PERSPECTIVE)

的な存在感を高めていきます。黒澤明や溝口健二の時代劇に始まり、映画史に名を刻む作家たちの作品はもちろん、『ゴジラ』に代表される「特撮もの」や「怪談もの」、「やくざ映画」から近年は「ホラー」や「アニメーション」といった、日本ならではの文化的背景を生かした大衆娯楽映画まで、今や日本映画は様々な角度から世界で愛されています。

本展では、各国で制作された日本映画ポスターを中心に、外国からのまなざしを通して、日本映画とそこに描かれる“日本”を見つめ直します。日本映画の豊かでカオスな魅力を存分にお楽しみください。

『ゴジラ』(1954)スペイン版ポスター



『座頭市千両首』(1964)フランス版ポスター

**5.30(土) 13:30**  
チケット発売日 **4.11(土)**  
【活弁＋生演奏付き上映】  
**十字路** \*国立映画アーカイブ所蔵作品  
澤登 翠さん×湯浅 ジョウイチさん

年に1度実施している、活動弁士による無声映画の活弁付き上映。澤登翠さんの活弁に、湯浅ジョウイチさんのギター生演奏付きで上映します。国立映画アーカイブ所蔵の35mmフィルムとともに楽しみください。\*上映後、ミニトークを予定

料金：一般 2,500 円／小・中学生 1,250 円 (展示観覧料含む)



『狂った一頁』(1926)に続き、前衛的な手法で剣戟場面のない時代劇を撮った意欲作。ヨーロッパ各国で公開され、国外で評価された最初の日本映画として知られる。消失したとされたフィルムの所在が明らかになり、のちにロンドンのフィルムアーカイブより日本に返還された。

1928年／衣裳映画聯盟＝松竹キネマ／白黒／87分／35mm  
監督:脚本:衣笠貞之助  
出演:千早晶子、阪東寿之助、小川雪子、相馬一平

**1 砂の女**  
**4.14(火) 10:30**  
**4.16(木)・18(土) 14:00**



いけばな草月流家元の出自ながら映画界でも独自の地位を築き、作家・安部公房との共同作業でも知られる勅使河原の代表作。カンヌ映画祭審査員特別賞受賞、アカデミー外国語映画賞、監督賞にノミネートされた。

1964年／勅使河原プロダクション／白黒／147分／35mm  
監督:勅使河原宏 原作:脚本:安部公房  
音楽:武満徹 出演:岡田英次、岸田今日子、三井弘次

**7 映画の中の黒澤明**  
Filming Akira Kurosawa  
\*日本語・英語字幕付き上映  
**5.17(日) 10:30**  
**5.13(水) 14:00**



『乱』のメイキング企画によって、大学生ながら撮影への同行を許され、緊張感に満ちた撮影現場をビデオに収めた『Life work of Akira Kurosawa』の進化系リメイク作品。人間・黒澤明の知られざる姿が浮かび上がる。

2025年／カラー／93分／DCP  
監督:河村光彦

**13 裸の島**  
**6.3(水)・6(土) 10:30**  
**6.4(木)・7(日) 14:00**



井戸も平地もない瀬戸内海の孤島に暮らす家族の日常を、台詞を廃した映像と美しい音楽で紡ぐ。低予算ながらモスクワ国際映画祭グランプリをはじめ各国の映画祭で受賞し、新藤の名を一躍世界に知らしめた代表作。

1960年／近代映画協会／白黒／95分／DCP  
監督:脚本:新藤兼人 音楽:林 光  
出演:殿山泰司、乙羽信子、田中伸二、堀本正紀

**2 雨月物語** \*英語字幕付き上映  
**4.16(木)・17(金) 10:30**  
**4.14(火)・19(日) 14:00**



『羅生門』に続きヴェネチア国際映画祭で銀獅子賞を受賞し、日本映画の国際的評価を確立した一作。溝口はフランス・ヌーヴェルヴァーグに多大な影響を与え、京マチ子は“グランプリ女優”と呼ばれて世界に名を高めた。

1953年／大映／白黒／97分／DCP  
監督:溝口健二 原作:上田秋成  
脚本:川口松太郎、依田義賢  
出演:京マチ子、水戸光子、田中絹代、森雅之、小沢栄

**8 座頭市と用心棒**  
**5.19(火)・23(土) 10:30**  
**5.20(水)・22(金) 14:00**



勝新太郎の当たり役に知られる人気シリーズ第20作。黒澤の『用心棒』から三船のキャラクターとプロットを借り、最大のヒット作となった。ハンディキャップを負ったヒーローによる超人的なアクションは世界に影響を与えた。

1970年／勝プロダクション／カラー／115分／35mm  
監督:脚本:岡本喜八 原作:子母沢寛 脚本:吉田哲郎 出演:勝新太郎、三船敏郎、若尾文子、嵐寛寿郎、滝沢修

**14 Love Letter (4Kリマスター)**  
**6.9(火)・12(金) 10:30**  
**6.10(水)・13(土) 14:00**



テレビ分野で活躍していた岩井の長編劇映画第1作。小樽と神戸で繰り広げられる、恋文から始まるラブストーリー。日本文化解禁直後の韓国をはじめアジア各国で大ヒットし、一昨年に急逝した中山美穂の代表作となった。

1995年／フジテレビジョン＝ヘラルド・エース／カラー／117分／DCP  
監督:脚本:岩井俊二  
出演:中山美穂、豊川悦司、范文雀、酒井美紀、柏原崇

**3 怪談** (短縮版)  
**4.18(土)・19(日) 10:30**  
**4.15(水)・17(金) 14:00**



小泉八雲の原作から「和解(黒髪)」 「雪女」 「耳無芳一のはなし」 「茶碗の中」をオムニバス形式で映画化。カンヌ映画祭審査員特別賞受賞、アカデミー外国語映画賞にノミネートされるなど、その芸術性が世界で絶賛された。

1965年／文芸プロダクションにんじんくらぶ／カラー／161分／35mm  
監督:小林正樹 原作:小泉八雲「怪談」 「明暗」 「骨董」 脚本:水木洋子  
出演:新珠三千代、三国連太郎、仲代達矢、岸恵子、中村賀津雄、中村錦右衛門

**9 子連れ狼子を賞し腕試しがまつ**  
**5.21(木)・22(金) 10:30**  
**5.19(火)・24(日) 14:00**



一族を皆殺しにされた居合の達人が、愛息とともに各地を渡りながら刺客道を歩むシリーズ映画の第1作。1970年代に人気を誇った原作漫画は海外輸出されて世界の「マンガ」人気を牽引し、国内外で愛される作品となった。

1972年／勝プロダクション／カラー／95分／35mm  
監督:三原研次 原作:脚本:小池一雄 原作:小島剛夕 出演:若山富三郎、伊藤雄之助、富川晶宏、真山知子、露口茂

**15 (ハル)**  
**6.11(木)・14(日) 10:30**  
**6.9(火)・12(金) 14:00**



インターネット時代の到来を前に、パソコン通信を題材にした画期的かつ普遍的なラブストーリー。メール文面を映像で表現するなど森田の旺盛な実験精神が生かされ、近年海外での再評価が進む中でも特に愛される一本。

1996年／光和インターナショナル／カラー／118分／35mm  
監督:脚本:森田芳光  
出演:深津絵里、内野聖陽、戸田菜穂、宮沢和史、平泉成

\*作品により映像・音声が必要でも良好でないものがあります。場合によっては上映素材作品の変更があることをご了承ください。 \*当館では(4K)と記載されている場合でも(2K)上映となります。

**4 羅生門** (デジタル完全版)  
**5.12(火)・15(金) 10:30**  
**5.14(木)・17(日) 14:00**



本作のヴェネチア国際映画祭最高賞受賞によって、日本映画の海外進出が本格化した記念碑的一作。複数の視点から語られる物語や、コントラストの強い映像など、世界の映画人たちに多大な影響を与えた。

1950年／大映／白黒／88分／DCP  
監督:脚本:黒澤明 原作:芥川龍之介「藪の中」 脚本:橋本忍 撮影:宮川一夫  
出演:三船敏郎、森雅之、京マチ子、志村喬

**10 修羅雪姫**  
**5.20(水)・24(日) 10:30**  
**5.21(木)・23(土) 14:00**



明治を舞台に、母の怨念を背負った女が、厳しい修行を経て復讐に挑むアナーキーな時代劇。「女囚さそり」とともに梶の代表作であり、タランティノー「キル・ビル」には本作へのリスペクトが随所に散りばめられている。

1973年／東京映画／カラー／97分／35mm  
監督:藤田敏八 原作:小池一雄、上村一夫 脚本:長田紀生 出演:梶芽衣子、黒沢年男、西村晃、岡田英次、赤座美代子

**16 ロスト・イン・トランスレーション**  
**6.10(水)・13(土) 10:30**  
**6.11(木)・14(日) 14:00**



日本滞在中のハリウッド・スターと、写真家の夫の仕事で来日した若い妻の束の間の交流を通して、異国の地で味わう疎外感や意思疎通の困難さを描く。全編日本で撮影された監督自身の半自伝的作品で、多くの映画賞を受賞した。

2003年／アメリカ＝日本／カラー／102分／35mm  
監督:脚本:ソフィア・コッポラ  
出演:ビル・マーレイ、スカーレット・ヨハンソン、ジョヴァンニ・リビシ

**5 乱** (4K デジタル修復版)  
**5.14(木)・16(土) 10:30**  
**5.12(火)・15(金) 14:00**



シェイクスピア「リア王」と毛利元就「三子教訓状(さんしきょうくんじょう)」を元に、争い合う人間の愚かさを俯瞰的に見つめる。破格の予算を投じて国際共同製作され、ワダ・エミがアカデミー衣裳デザイン賞を受賞した黒澤映画の集大成。

1985年／日本＝フランス／カラー／162分／DCP  
監督:脚本:黒澤明 脚本:小国英雄、井手雅人 出演:仲代達矢、隆大介、ピーター・原田美枝子、井川比佐志、植木等

**11 刺青一代**  
**6.2(火)・7(日) 10:30**  
**6.3(水)・5(金) 14:00**



やくざ渡世に愛想を尽かし、愛弟と満州に渡ろうと港町にやってきた青年だったが…。海外でも人気の高い鈴木清順監督と映画美術・木村威夫のコンビによる、様式美と鮮烈な色彩が堪能できるけれん味溢れる一作。

1965年／日活／カラー／87分／35mm  
監督:鈴木清順 脚本:直居敏哉、服部佳  
出演:高橋英樹、花ノ本寿、和泉雅子、伊藤弘子、山内明

**6 A.K.ドキュメント黒澤明**  
**5.13(水) 10:30**  
**5.16(土) 14:00**



日本に高い関心を持つマルケルが、フランス側製作者に招かれ、富士山麓での『乱』の撮影に同行、巨匠・黒澤明の仕事を見つめたドキュメンタリー。稀代の批評家・蓮實重彦による日本語ナレーション版での上映。

1985年／フランス＝日本／カラー／70分／35mm  
監督:クリス・マルケル

**12 愛のコリーダ** (修復版)  
**6.4(木)・5(金) 10:30**  
**6.2(火) 14:00**  
**6.6(土) 13:30** 特別上映



昭和史に残る「阿部定事件」(1936年)を題材に男女の性愛を極限まで突き詰めて、「芸術か、猥褻か」をめぐる大きな議論を呼んだ。全世界に衝撃を与えセンセーションを巻き起こした、大いなる人間の“生”への賛歌。

1976年／日本＝フランス＝日本／カラー／104分／DCP  
監督:脚本:大島渚  
出演:松田英子、藤竜也、中島葵、芹明香、殿山泰司

**企画展観覧料**  
一般 300(210)円  
小・中学生 150(100)円  
\*( )内は20名以上の団体料金  
※鎌倉市民は展示観覧料が無料です。  
入館時に住所が確認できる証明書をご提示ください。

**映画鑑賞** (展示観覧料含む)  
一般 1,300円  
小・中学生 650円

**特別上映** (展示観覧料含む)  
一般 1,900円  
小・中学生 950円

**チケット発売開始日**  
**1~3 3.14(土) 11~16 5.9(土)**  
**4~10 4.11(土)**

**チケット販売場所**  
鎌倉市川喜多映画記念館窓口  
**0467-23-2500**  
※友の会会員の方は、電話予約をご利用いただけます。